

荒川ハンノキプロジェクト & 荒川の草花を育てようプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクトです。荒川の草花を育てようプロジェクトは、外来植物*が増えるのをおさえるために、三ツ又沼ビオトープ周辺にもともと生えていた野草を増やす取り組みです。サポーター事務局では、この取り組みに参加する企業・団体・学校を募集しています。

*外来植物：人によって地域の外から持ち込まれた植物

一年の活動を振りかえり

上尾市立太平中学校科学部

2月10日(金)に上尾市立太平中学校の科学部でこの一年の活動の振りかえりを行いました。

生徒からは「夏に実施した外来植物抜きは大変だったけど、楽しかった。来年度も頑張りたい」「12月に三ツ又沼ビオトープに植えたハンノキがしっかり育つか確認したい」などの来年度への期待や抱負が述べられました。



たねを採れたチカラシバや、あまり採れなかったキンミズヒキ、色々な植物を知ることができた」と嬉しそうに話していました。



初めて知った三ツ又沼ビオトープ

川島町立三保谷小学校

これからプロジェクトへの参加を検討している川島町立三保谷小学校では、新年度の活動開始に向けて、1月27日(金)に3・4年生とその保護者を対象に三ツ又沼ビオトープの学習会を行いました。

学習会では、三ツ又沼ビオトープにいる生きものことや、自然を守る活動について紹介。子どもたちは、カヤネズミやノウサギなど、三ツ又沼ビオトープの生きものに興味津々の様子でした。



活動開始一年目、大成功

上尾市立平方北小学校

今年度、新しく荒川の草花を育てようプロジェクトに参加した上尾市立平方北小学校。2月28日(火)に、今年度のまとめとして、秋に学校で収穫した荒川の草花のたねをサポーター事務局に返すセレモニーが開催されました。

今年度収穫できたたねは、キンミズヒキ、チカラシバ、ノアザミ、メハジキ、ユウガギクの5種類でした。これらのたねが、環境飼育委員の児童から、荒川上流河川事務所の所長に手渡されました。児童は、「沢山

いろいろな方が関わっています

三ツ又沼ビオトープに残された荒川の貴重な自然を守るために、いろいろな方々が三ツ又沼ビオトープに関わっています。

冬も元気に自然を守って汗を流す

埼玉県立いずみ高等学校

2月1日(水)、埼玉県立いずみ高等学校の生物サイエンス科2年生が三ツ又沼ビオトープで保全管理活動を行いました。今回の活動内容は、マグワ伐りとヨシ刈り。今年度の現地実習も3回目なので、皆さん慣れた様子で積極的に活動してくれました。

活動の合間に、クワコの蘗を観察しました。クワコは、カイコの原種と言われているガです。生徒たちは、冬も生命に満ち溢れている三ツ又沼ビオトープの自然に驚いていました。



一年間の学習を総括

埼玉県立いずみ高等学校

2月24日(金)、埼玉県立いずみ高等学校で一年間の三ツ又沼ビオトープでの活動に関する総括発表会が行われました。

前半は、2年生による課題研究の発表と、今年度の活動の振り返りを行いました。後半は、一年間三ツ又沼ビオトープで活動して印象に残ったことなどを共有しました。「マグワを伐る体験が普段できないことなので一番印象に残った」「私たちよりも大きな草が生えていて驚い



た」「在来種と外来種の区別が難しかった」など様々な感想が述べられました。



今年度、三ツ又沼ビオトープで活動をしてくださった皆様

●あらかわ市民環境サポーターの皆様

●市民団体等

上尾の自然を守る教職員の会、荒川クリーンエイド・フォーラム、荒川の自然を守る会、いきがい愛の会、いきがい大学伊奈学園卒業生、エンハンスネイチャー荒川・江川、川島ネイチャークラブ、教育ルネッサンス、埼玉県生態系保護協会上尾支部、ボーイスカウト上尾4・9団

●教育機関

上尾市立太平中学校、上尾市立平方北小学校、浦和高等学園、学習院大学、川島町立出丸小学校、埼玉県立いずみ高等学校、埼玉県立総合教育センター江南支所、埼玉動物海洋専門学校、大正大学

●企業

株式会社 武蔵野銀行

皆様、ありがとうございました！



【三ツ又沼ビオトープ】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

【環境サポーター大募集！】

自然を守る作業や自然学習の指導をする「あらかわ市民環境サポーター」を募集しています(荒川上流河川事務所内のサポーター事務局にて登録)。

地域の自然を守るためには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きな方、荒川が好きな方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています！